

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門		総務-14 庁舎管理事務					
主管課	管財課	関連課	建築住宅課					
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	市民共有の財産として、庁舎の計画的な保全(修繕等)を図り、市民サービスの拠点として適正な維持管理を行う。							
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考			
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯				
運営資源 状況	事業の対象者数							
	決算値(千円)	196,861	185,213	316,500				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	196,861	185,213	316,500				
	人員配置数	6.2	6.2	6.3				
	人件費(千円)	52,677	52,930	56,408				
事務事業 運営経費	協働の パートナー							
	総事業費(千円)	249,538	238,143	372,908				
	市民1人当 りの経費(円)	1,408	1,344	2,110				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)							
	団体名⇒							
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
ダイヤルインの拡充	△	目標値	—	—	—	—	—	
		実績値	47課	49課	49課			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標達成後								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
庁舎管理事務	196,861千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	庁舎の総合管理業務及び維持修繕等				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要	環境整備協力金等の管理業務				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	平成19年度から設備改修工事を実施し、庁舎の基幹部分の更新を行っているが、各フロアの未改修部分については、給排水設備等の故障が発生しており早期の改修が必要である。
課題解決のための取組	未改修部分の実設計を行った。第四分庁舎の建て替えを実施した。
未解決の課題	未改修部分の老朽化が著しい。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		子育て支援やユニバーサル・デザインに配慮したトイレの改修を平成24年度から行っていく。効率的で、利便性が高く誰もが快適に利用できる庁舎管理を目指す。	↓
③有効性 ○		B			課長(代理)
④公平性 ○					高宮 淳

